

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉市ハーモニープラザ（施設維持管理等業務）
条例上の設置目的	社会福祉の増進及び男女共同参画社会の形成の促進を図るため、市民の自主的な活動及び交流の場を提供するとともに、各種の事業を行うこと。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	本施設の設置目的「社会福祉の増進及び男女共同参画社会の形成の促進」が果たされるよう、総合施設として有機的に運営すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	・利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設内環境の維持管理や施設の経営管理を適切に行うこと。 ・施設、事業に関して積極的なプロモーション活動を行い、施設の利用促進を図ること。
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、施設利用者の満足度向上や効率的な施設運営を図り、施設の設置目的である「社会福祉の増進と男女共同参画社会の形成の促進」を実現させること。
指定管理者名	千葉市ハーモニープラザ管理運営共同事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	【代表団体】社会福祉法人千葉市社会福祉事業団 ※施設維持管理等業務担当
	【構成団体】社会福祉法人千葉市社会福祉協議会
	【構成団体】公益財団法人千葉市文化振興財団
指定期間	平成30年4月1日～令和2年3月31日（2年）
所管課	保健福祉局地域福祉課

2 成果指標等の推移

(1) 施設に関するアンケートで「とても良い」・「良い」と答えた割合（成果指標1）

	平成29年度	平成30年度	平均
実績値	90.0%	89.6%	89.8%
数値目標※	80.0%	80.0%	80.0%
達成率	112.5%	112.0%	112.3%

(2) 施設の利用促進に資するイベントの参加者数（成果指標2）

	平成29年度	平成30年度	平均
実績値	17,533	18,709	18,121
数値目標※	増加（前年度比）	増加（前年度比）	—
達成率	106.9%	106.7%	106.8%

(参考) 平成28年度参加者数：16,398人

(3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	平成29年度	平成30年度	平均
施設利用者数	176,837	159,731	168,284

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

			平成29年度	平成30年度	合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	195,748	196,043	391,791
			計画	195,748	196,043	391,791
		合計	実績	195,748	196,043	391,791
			計画	195,748	196,043	391,791
	支出	実績	190,000	193,212	383,212	
		計画	195,748	196,043	391,791	
	収支		実績	5,748	2,831	8,579
	総収入		実績	195,748	196,043	391,791
	総支出		実績	190,000	193,212	383,212
	総収支		実績	5,748	2,831	8,579
利益の還元額		実績	0	0	0	
利益還元の内容						

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	B	【目標達成率】※平成29年度・平成30年度の平均 ・成果指標1 112.3% ・成果指標2 106.8% (105%以上120%未満：B)
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	平成30年度 提案額：196,927千円 指定管理料：196,043千円 ※削減率4.5% 平成29年度 提案額：204,448千円 指定管理料：195,748千円 ※削減率4.3% (削減率：選定時の提案額と指定管理料を比較) (削減率5%未満：C)
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	・関係法令等を遵守し、管理運営の基準や提案書、事業計画書のとおりに適正に実施されている。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	・施設責任者や有資格者を適切に配置している。 ・研修委員会において研修計画を作成し、実施している。
(2) 施設の維持管理業務	C	・事業計画に基づき、適切に修繕、点検、清掃、警備、防災訓練等を実施している。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	・施設の広報や利用促進のため、広報誌（「ハーモニープラザニュース」）の発行やイベント（「サマーフェスティバル」「ハーモニープラザフェスタ」）を開催した。
(2) 利用者サービスの充実	C	・利用者意見の聴取、自己モニタリング等を実施し、運営管理に反映している。 ・モニタリング委員会において、施設内の他の福祉団体等とも情報の共有を図っている。
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	・いずれの項目も、管理運営の基準や提案書・事業計画書のとおり実施している。

総合評価	C
------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
- D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
- E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

- ・施設の満足度を問うアンケートでは、好意的な回答が平均89.8%となっている。
- ・施設の広報・利用促進を図るため開催している大規模イベントでは、参加者数が年々増加している。
- ・管理運営共同事業体のほか、ハーモニープラザ内の関係施設・団体の職員から構成される「ハーモニープラザ管理運営共同事業体協議会」等を組織することにより、総合施設としての効率的な管理運営が行われている。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

令和2年度より、ハーモニープラザ内に新たに中央区蘇我コミュニティーセンターの分館が開設されることに伴い、当該分館の指定管理者との連携・協力体制の構築等が必要になる。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・施設の管理運営について、新しい体制に変わることから、より複雑化することが想定されるため、円滑な運営に努めていただきたい。
- ・施設の適正管理にあたって、適切な成果指標や数値目標を設定し、評価しやすい指標の検討をしていただきたい。
- ・市民サービスに支障が出ないように関係機関の連携を密にする等、協力体制の構築に努めていただきたい。